

# 所管課分析シート

※ 団体の設立目的を再確認し、存在意義・独立性の観点から見直しを行うためのシートです。今後の関与の方向性を整理するために記入してください。

令和7年7月1日 現在

## 1. 外郭団体に対する現状分析

所管課名	文化スポーツ	部 区	文化政策	課	担当者名 (連絡先)	六原 (32560)	所管する団体名	公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団
団体に求める 姿、取り組み	設立目的を達成するため、市民の文化活動の発展等に向け文化ストックの蓄積と活用を行っていただきたい。 また、経費削減による事業費の圧縮・適切な事務の執行並びに確保を行うことと、近隣施設との事業連携を強化、施設運営の更なる効率化を望む。							
市の関与	直接的関与				間節的関与			増減の理由
	出資、出捐	900,000		千円	事業費補助金	297,173		千円
	派遣、兼務職員	常勤	1名	非常勤	7名	指定管理業務（公募）	施設	千円
	運営費補助金	48,128		千円	随意契約でない委託契約	件	千円	
	指定管理業務（非公募）	4	施設	869,573	千円 その他市からの収入に繋がるもの			
	随意契約	件		千円				
	その他							
現状分析 (評価に関する観 点の整理)	存在意義	団体の設立目的について（設立目的は達成されていないか） <input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成しているが、将来課題を抱えている <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/>	市及び市民への貢献度について（設置目的に対する役割を果たしているか） <input type="checkbox"/> 貢献度は低い <input type="checkbox"/> 受益者が一部に限られる <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い <input type="checkbox"/>	市直営事業との整理はできているか（事業の重複はないか） <input checked="" type="checkbox"/> 整理できている <input type="checkbox"/> 重複する事業がある <input type="checkbox"/> 市の施策に必要な事業を実施している <input type="checkbox"/>	事業活動の代替性について（民間事業者が類似事業を行えるか） <input type="checkbox"/> 民間でも実施可能である <input checked="" type="checkbox"/> 民間では代替できない <input type="checkbox"/> 課題を整理すれば代替可能 <input type="checkbox"/>			
	独立性	団体の自立的経営について（ヒト・コスト面で自立しているか） <input checked="" type="checkbox"/> 自立性が高い <input type="checkbox"/> 自立性が低い <input type="checkbox"/>	団体独自の経営努力について（コスト面・サービス向上など） <input checked="" type="checkbox"/> 取り組んでいる <input type="checkbox"/> 一層の取組みが必要 <input type="checkbox"/>	随意契約の状況（競争性・透明性のない随意契約がないか） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善が必要である <input type="checkbox"/>	課題への取組状況 <input checked="" type="checkbox"/> 着実に対応を進めている <input type="checkbox"/> 対応を進めているが遅れている <input type="checkbox"/> 対応が困難			
団体の必要性	蓄積されたノウハウやネットワークの活用により、多様な分野による質の高い創造的な芸術文化事業を提供し、合わせて普及と育成に努めており、引き続き市の文化振興に寄与できると考える。また、文化芸術に関する助成制度を通し、市民の幅広い文化芸術活動の支援に貢献している。							
他団体との 統合の可能性	ノウハウの活用や継続性を維持することができれば可能と考える。							
今後の 関与の方向性	<input type="checkbox"/> 関与の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 関与の縮小 <input type="checkbox"/> 関与の廃止				【左記とした理由】 引き続き、諸課題を整理しながら団体と市の文化振興を図っていく。			
その他 (次年度へ向けた 課題など)								

2. 外郭団体に対する改善指示事項への所管課としての関わり

No.	団体が抱える課題※	改善に向けた所管課の具体的な取り組み	関わったことによる成果	(未解決の場合) 今後の方針
1	経費削減に向けた取り組みは、管理施設ごとに取り組む場合であっても、最終的には法人全体の削減目標を設定した上で取り組む必要がある。	光熱水費の節減や変形労働時間制の導入など財団が実施している取り組みを定期的な会議等を通じて情報共有を行っている。	光熱水費の節減や超過勤務の縮小により経費削減されるとともに財団全体の労働環境の向上が図られている。	
2	アーツカウンシル事業について、成果指標を明確にし、評価、改善を重ねていくことが必要である。	財団との情報共有会議を定期的に行い、取り組みの進捗状況や評価を随時共有している。	財団中期経営計画を策定する過程で、財団内のアーツカウンシル機能の位置づけを再検討した。	
3	正味財産増減額が大きくプラスになっているため、市からの委託料などの見直しを検討するなど、団体が保有する財産は適正な範囲とする必要がある。	指定管理料や補助金の支出にあたり、収支状況を確認するなど、保有する財産の状況を確認しながら対応している。	・Noism20周年記念事業の費用に充当するための特定資産を活用した事業実施により、正味財産の減額を図った。	引き続き、財団が保有する財産の適正な範囲について検討していく必要がある。
4	経費削減の努力が見られるが、対応する収益の確保について改善の余地がないか検討されたい。	経費に対応する収益の改善の余地について検討し、自主財源の確保に努めるよう促した。	りゅーとぴあ文化事業において、他団体やマスコミ等との共催による事業を実施するなど市補助金に頼らず、自主財源による事業運営が行われた。	
5				

※外郭団体評価調書の「6. 経営改善状況（個別の取り組み）」に記載された「改善指示事項」が対象となります。

3. 所管課に対する改善指示事項の対応状況

改善指示事項		外郭団体が保有する正味財産が一定程度を超えた場合に健全とは言えないことから、その適正範囲について市からの財政支出の適正額も含めて整理すべき。								
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	令和6年7月、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団適正人員管理計画(R6~10)を策定。								
	取り組みによる成果	現場の状況を共有し、所管課として適切な意見を伝えることにより、事業の在り方について検討が進んだ。								
	改善・対応区分	A		B	●	C		D		E
	実施事項	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	市からの財政支出の適正額等を検討	計画		適正人員管理計画の策定を支援	市からの財政支出の適正額等を検討	市からの財政支出の適正額等を検討				
	実績									
	進捗状況	令和6年7月、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団適正人員管理計画(R6~10)を策定した。								
	今後の課題	市からの財政支出の適正額等を整理のうえ検討する。								
	課題への対応	財団の収支状況を確認するなど情報共有をしながら整理を行っていく。								

改善対応区分  
A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)  
B: 改善の取組の効果が始まっている  
C: 改善の取組に着手  
D: 改善の取組に向けて検討中